

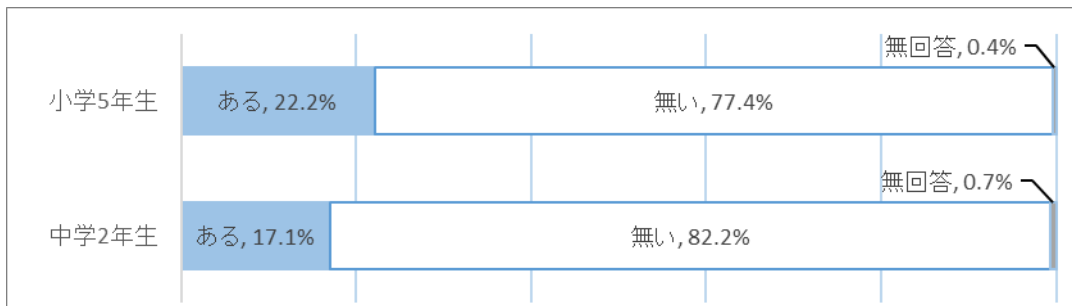
「くにたち子ども的人権オンブズマン」についてのアンケートの実施

市立小中学校の小学5年生と中学2年生を対象に、くにたち子ども的人権オンブズマンの周知度と子どもの意見を把握し、今後の活動につなげることを目的として、「子どもオンブズマン」についてのアンケートを実施しました。

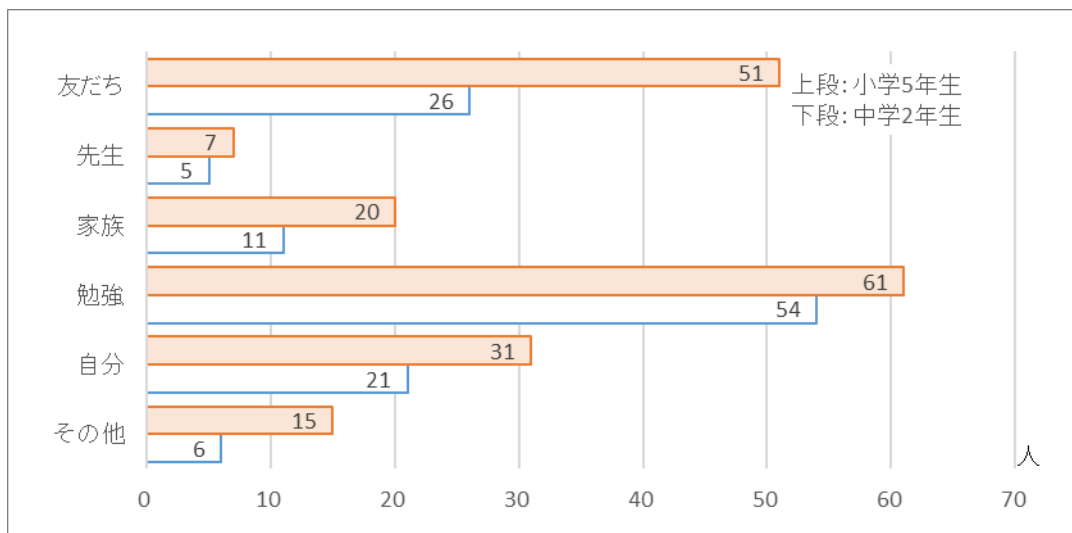
アンケートの実施期間は、令和5年9月14日から10月2日までです。

制度開始から6年を経て子どもオンブズマンの活動が多くの子どもたちに浸透してきましたが、活動内容をお知らせしながら、より相談しやすい環境作りに取り組んでいきます。

質問1 あなたは、今、悩んだり困ったりしていることはありますか？

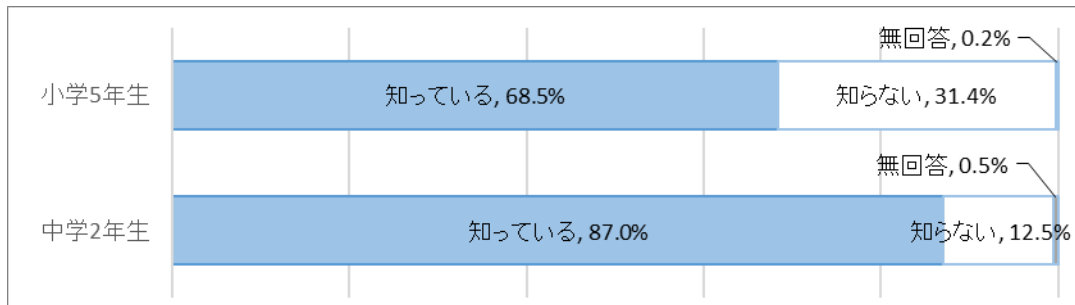


悩みがある人は、何について悩んでいますか。(いくつ選んでもいいです。)



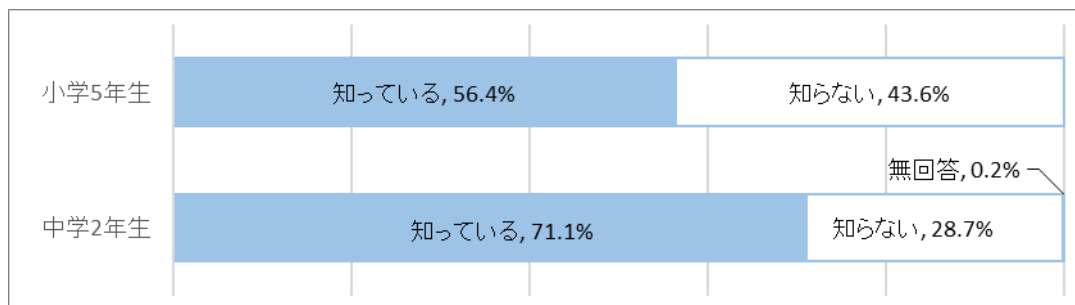
小学生では、これまで「友だち」の悩みが一番多い傾向でしたが、今回は中学生と同じ「勉強」に悩んでいる子が多いことが分かりました。首都圏では中学受験者数が年々増加しているため、そのことも影響しているのかもしれませんが。

質問2 くにたち子どもの人権オンブズマン（子どもオンブズマン）を知っていますか？



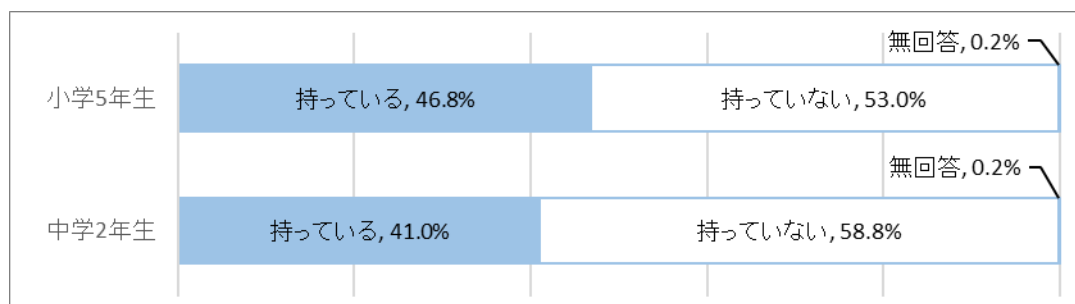
小学生の周知度は横ばいですが、中学生ではアンケートを開始した令和元年度から10%高くなり、約9割近くの子どもたちが「知っている」と回答してくれました。

質問3 子どもオンブズマンは、子どもの人権を守るため、あなたの話を聞いて一緒に考えたり、あなたの意見を家族や先生に伝えたり、解決に向けて一緒にがんばることを知っていますか？



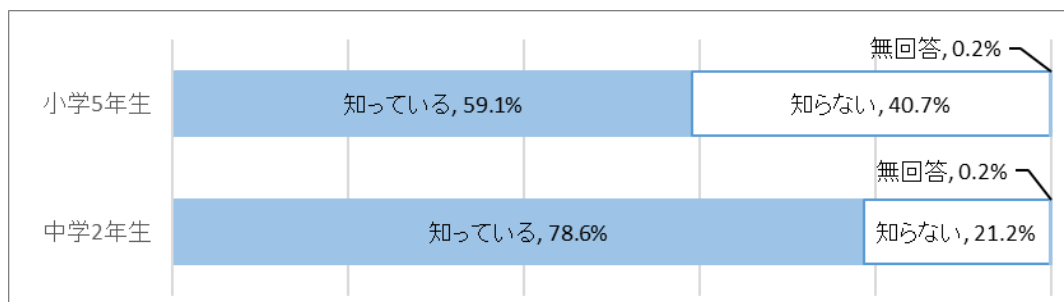
中学生では、子どもオンブズマンの周知度に比例し、活動内容についても令和元年度と比較すると10%高くなりました。相談者層は小学生が多いため、小学生向けのアウトリーチ活動が今後の課題です。

質問4 子どもオンブズマンが、みなさんに配っているカードを持っていますか？

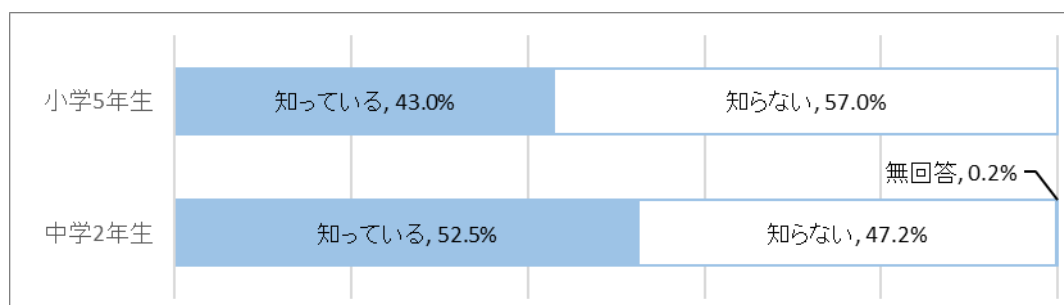


子どもオンブズマンへの相談方法として一番多いのが電話（フリーダイヤル）です。思い立った時にすぐに相談できるように、連絡先が書いてあるカードを手元に置いてもらえる工夫が必要です。

質問5 子どもオンブズマンは、フリーダイヤル（無料）で相談ができることを知っていますか？

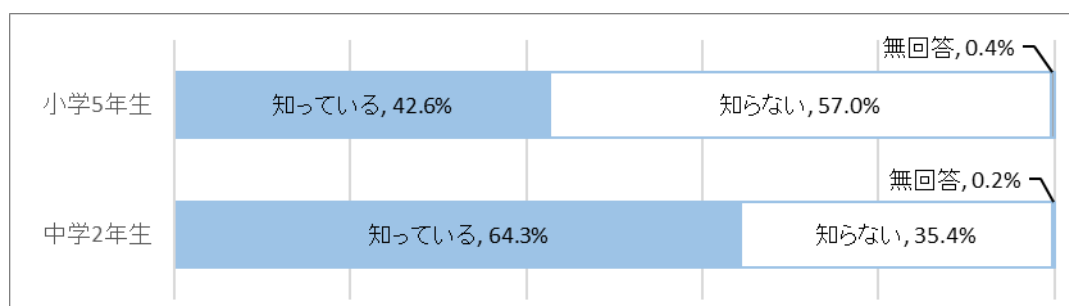


質問6 子どもオンブズマンに、手紙で相談できるオンブズマンレター（無料）を知っていますか？



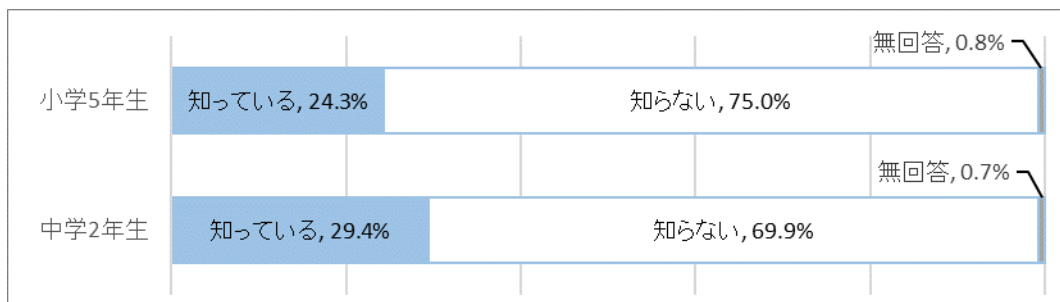
相談方法で電話（フリーダイヤル）に次いで多いのが、オンブズマンレターです。オンブズマンレターの利用者の多くは小学生ですので、使用方法等について広い年齢層への周知も継続していきます。

質問7 子どもたちには、『児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）』があって、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」が保障されていることを知っていますか。※条約とは、国と国とのあいだでとりかわす約束ごとです。



子どもの権利条約は、すべての子どもたちが、今を幸せに生きるために持っている権利と、その権利を守るために大人がやらなければならないことを定めています。質問の4つの権利は、すべての条文にかかわる大事な原則です。これらの権利が守られるよう、今後もイベント等を通じ周知、啓発していきます。

質問8 令和4年6月に「こども基本法」という法律ができました。この法律は、すべての子どもがすこやかに成長することができ、持っている権利が守られ、幸せな生活ができる社会にすることを目的に作られました。このことを知っていますか？



「こども基本法」は、子どもの権利条約がルーツになっていますが、子どもの権利条約に比べ、まだまだ周知度は高くありません。

質問9 国立市ではもうすぐ、こどもたちが自分らしく生きられるまちを目指した、「(仮)国立市子ども基本条例」ができます。

(1) あなたにとって、自分らしくいられる安心できる場所や大切に思う場所があれば書いてください。

・家、自分の部屋	・図書館	・部活、習い事をする場所
・学校、教室	・公園	・矢川プラス

…など

(2) 自分らしくいられる安心できる場所として、こんな居場所があったらいいな、と思いつく場所があれば書いてください。

・友だちと一緒にいる場所	・ひとりの場所	・みんなが笑顔になれる場所
・広い公園	・学習スペース	・スポーツをする場所

…など

質問10 長かった新型コロナウイルス感染症のための色々な規制が、ようやく解除されてきました。規制がなくなってよかったこと、またはたいへんになったことがあれば書いてください。

【よかったこと】

- ・マスクをつけなくてよくなった
 - ・給食の時に話ができるようになった
 - ・運動会・体育祭など学校行事ができるようになった
 - ・みんなの表情が良く見えるようになった
- …など

【大変になったこと】

- ・マスクをしていないと落ち着かない
 - ・人が多くて混雑する
 - ・気がゆるんでまた流行しないか心配
- …など

このほか「オンブズマンに伝えたいこと」として自由記述欄を設けました。

オンブズマンへの応援や「困った時には相談したい」など、頼りにしてくれているメッセージのほかに、自分のこと、家族のこと、友達のことなどで困っている、悩んでいるというメッセージに対しては、手紙で連絡したり、学校に確認したりしました。

子どもオンブズマンは、子どもの利益を第一に考え、子どもたちの声を聴いていきます。

今回のアンケートでは、「安心できる場所」を尋ねる項目がありました。多くのみなさんに自分なりの安心できる場所があることが分かって、オンブズマンは安心しました。

一方で、「静かな場所」、「ひとりになれる場所」といった回答も目につきました。コロナの状況が落ち着いてきて、今年度は学校でみんなと一緒にできることが多くなりました。そのことで、なんとなくクラスが騒々しくなって疲れたり、同級生との関係に悩んだりすることが増えたことが理由なのかと考えました。

そして、もしかしたらみなさんは、自分自身が疲れたり困ったりしていることに気がついていないかもしれません。「疲れた」とか「大変だ」と感じていなくても、いつもと何かが違うと感じたり、気になることがあったりしたときは、そのことをそのままにしないで、周りの大人に話をしてみましょう。



かたやまひろみち
片山弘道 オンブズマン